

## 【活用にあたって】

擬音語や擬態語のおもしろさを実感させることです。最も効果的な方法は、文学的な文章を読むときに、擬音語や擬態語が場面の情景を想像豊かに読む手助けをしていることに気付かせることです。

例えば、新美南吉の「手袋を買いに」の一節。雪の上をかけまわって手が冷たくなった子狐に、「母さん狐は、その手に、は——と息をふっかけて、ぬくとい母さんの手でやんわり包んでやり」ます。この「は——と」「やんわり」という表現から、母さん狐と子狐の姿ばかりでなく、母さん狐の優しさ、温かさまでも伝わってきます。

語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもたせたいと思います。

### 解答例

問1：音や動物の鳴き声、物事の様子、心の動きなどを表した言葉

問2：擬音語、擬態語

問3：イ

問4：① エ      ② イ